

SAD CA 千葉

サステナブルエリアデザイン

コミュニティアーキテクト

地域フォーラム

日本建築学会 サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会

千葉エリアでサステナブルエリアデザイン(SAD)を語る ~持続可能なまちづくりのために~

会場 日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス 37号館 101教室 (千葉県習志野市泉町 1-2-1)

日時 2010年9月15日(水) 17:00~20:00

サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会では、地域の固有性を有した持続可能な社会構築にむけた建築、都市計画、農村計画、まちづくり活動について、どのような理念、仕組み、担い手が求められるかを検討しています。今回、海・川・里山等を有する変化に富んだ首都圏千葉エリアにおいて、持続可能な社会のしくみの方向性を探ると共に、先導的にまちづくりに取り組んでいる方々を交えて、千葉エリアの持続可能なまちづくりについて議論を深め、継続的交流活動を促し、千葉エリアの活動・研究組織の展開へと繋げたいと考えています。

プログラム

主旨説明 宇杉和夫(日本大学、特別研究委員会委員長)

司会・コーディネート

川岸梅和(日本大学、特別研究委員会委員)・太田安則(特別研究委員会委員)

海老塚良吉(特別研究委員会委員)・成岡茂(千葉県OB)

副司会・記録 北野幸樹(日本大学、特別研究委員会幹事)

パネリスト・テーマ

広井良典(千葉大学) 社会活動(コミュニティ)が支える、持続可能な環境構築について

若井康彦(衆議院議員/都市・まちづくり議員連盟幹事長) 地域主権のまちづくり政策

高橋賢一(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 会長) 史的資源を生かしたまちづくり(佐原)

田中正治(農事組合法人 鴨川自然王国 事務局) 半農半Xと新しいコミュニティ

下田祥裕(NPO法人 KAOの会 事務局長) 地域プロデューサーとして持続可能な社会を考える

コメンテーター

藤本昌也(日本建築士会連合会会長)

麓 佳正(日本建築学会千葉支所長)

共催 サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会

日本建築学会千葉支所

後援 千葉県、我孫子市、市川市、柏市、香取市、鎌ヶ谷市、流山市

習志野市、船橋市、日本建築学会まちづくり支援建築会議

NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

資料代・参加費 500円

アクセス

JR 津田沼駅下車
北口4番バス乗場(京成バス)乗車
日大生産工学部下車
(所要時間約15分)

京成大久保駅(京成電鉄)下車
徒歩約10分

お問合せ

SAD&CA 特別研究委員会 千葉WG

日本大学 生産工学部 川岸研究室

E-mail: kitano.koki@nihon-u.ac.jp

TEL: 047-474-2489(北野)

